

2016-2017
STUDENT
GUIDE
TO JAPAN

日本語版



日本留学の魅力

質が高く、魅力的なカリキュラム

近年、ノーベル物理学、化学、生理学・医学賞の受賞者を輩出していることからわかるように、日本では最先端の科学を学ぶことができます。法律、経済、工学、理学だけではなく、環境、情報、防災、観光などの現代的な分野、漫画やアニメ、ゲーム、ファッション、お菓子作り等の分野まで、非常に幅広い分野を勉強することができます。また、最近では英語で学位が取得できるコースも増えています。



留学生への充実したサポート

日本の大学の学費は、決して高くない上、留学生への奨学金制度も充実しています。



日本で就職できるチャンス

近年、日本で就職する学生が増えており、日本の企業も積極的に留学生を採用しています。



国際的な環境で学べる

世界170カ国以上の国・地域から約20万人もの留学生が日本の大学や日本語学校等で学んでいます。最近では、留学生と日本人学生と一緒に暮らす国際学生寮も増えています。日本のみならず、世界各国の多文化に触れることで、視野が大きく広がるでしょう。



CONTENTS

日本ってどんな国？.....	2
日本の教育制度.....	4
日本留学 Q&A.....	6
日本語教育機関.....	8
大学（学部）・短期大学.....	10
編入学・短期留学.....	12
高等専門学校.....	13
専門学校.....	14
大学院.....	16
英語による学位取得コース.....	19
日本留学試験（EJU）.....	20
日本留学に必要な各種試験.....	22
留学生に聞きました！～これから留学する人へのアドバイス～.....	23
入国手続.....	24
学費.....	28
奨学金.....	30
生活費・物価.....	32
留学前に準備する経費.....	33
アルバイト.....	34
住居.....	35
医療保険・損害保険.....	36
インターンシップ・就職活動.....	37
日本での就職.....	38
統計.....	39
情報収集.....	40



日本ってどんな国？

高い科学技術、「モノづくり」の伝統

資源が乏しい日本がモノづくり大国として、経済成長を遂げた背景には、優れた教育で培った知識・技術があります。

電気自動車、デジタルカメラ、光ファイバー、人工心臓等、最先端の科学技術・医学を駆使した製品を世界に発信してきました。世界の食生活を変えたインスタントラーメン、カラオケ等も日本発祥です。日本には、工夫を重ね、独創的な商品を作り出す文化が根付いています。



住みやすい環境、安心・安全なインフラ設備

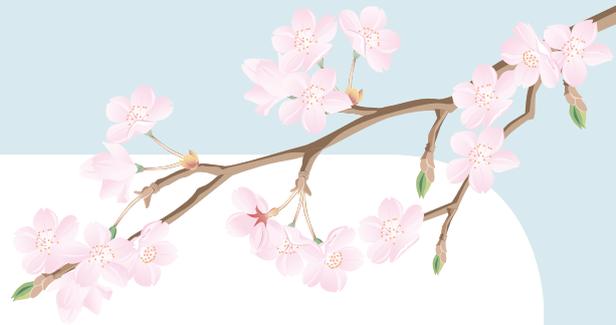
世界の中でも日本は犯罪が少なく、暮らしやすい国として有名です。落とし物をして多くは戻ってきます。交通機関も定刻に到着・発車し、安心・安全に目的地まで送り届けてくれます。保険制度も整っているため、病気になっても、少ない負担で高度な医療が受けられます。母国を離れることに不安な留学生も安心して暮らせます。



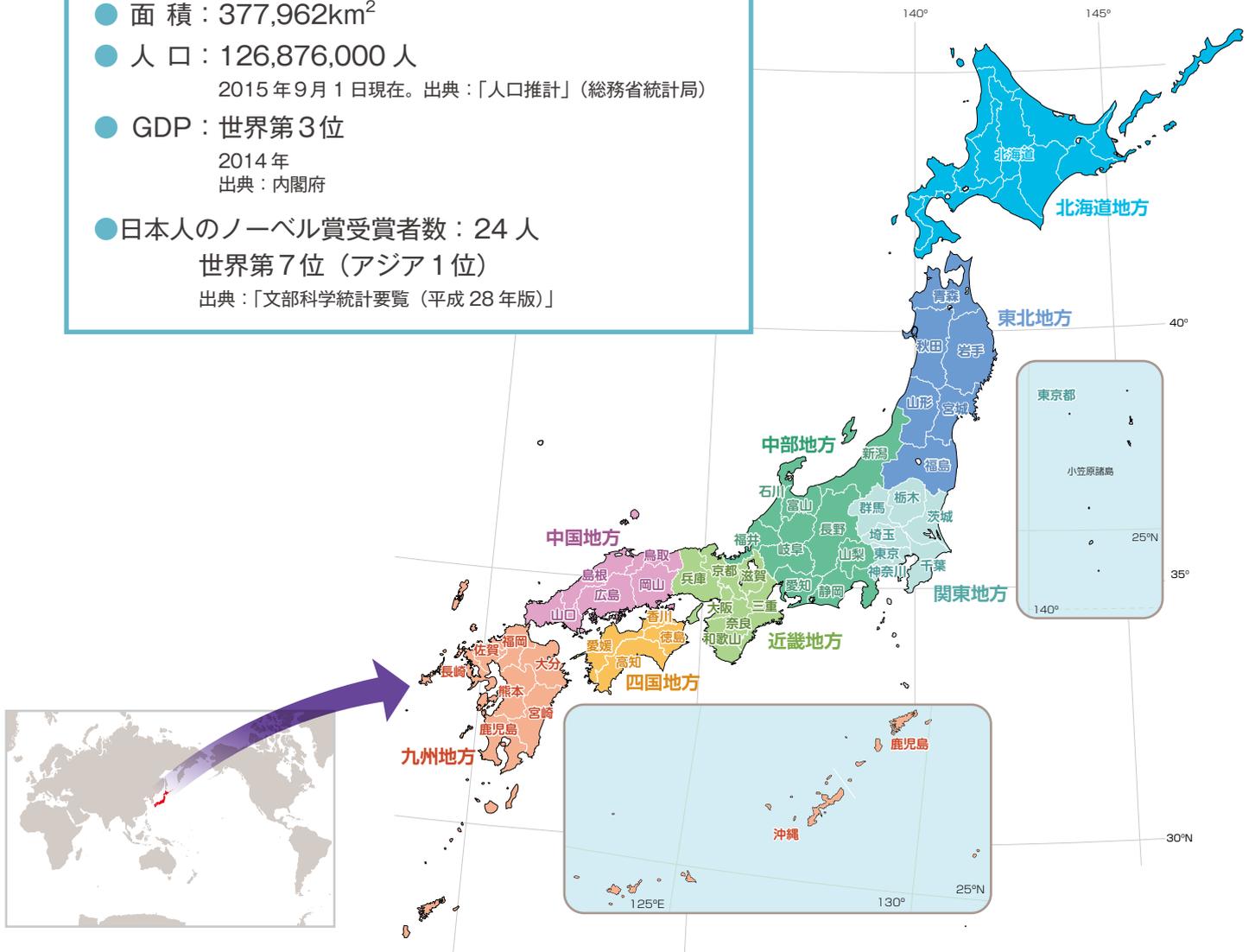
豊かな自然、魅力ある現代文化と伝統文化 そして「おもてなし」の心

海に囲まれ、春・夏・秋・冬の季節が楽しめる自然豊かな日本。日本はアニメやファッション等のポップカルチャーだけではなく、茶道や生け花等の伝統文化が息づいています。日本の象徴とも言える富士山をはじめ、姫路城、厳島神社等の世界遺産が日本には数多くあります。世界無形文化遺産に登録された和食は季節の食材を取り入れ、色彩豊かな健康的な料理として、長寿大国としての日本を支えています。日本人は規律を重んじ、真面目な国民性といわれています。また、日本にはまず相手のことを考える「おもてなし」精神が根付いており、留学生を温かく迎えてくれます。





- 面積：377,962km²
- 人口：126,876,000 人
2015年9月1日現在。出典：「人口推計」（総務省統計局）
- GDP：世界第3位
2014年
出典：内閣府
- 日本人のノーベル賞受賞者数：24 人
世界第7位（アジア1位）
出典：「文部科学統計要覧（平成28年版）」

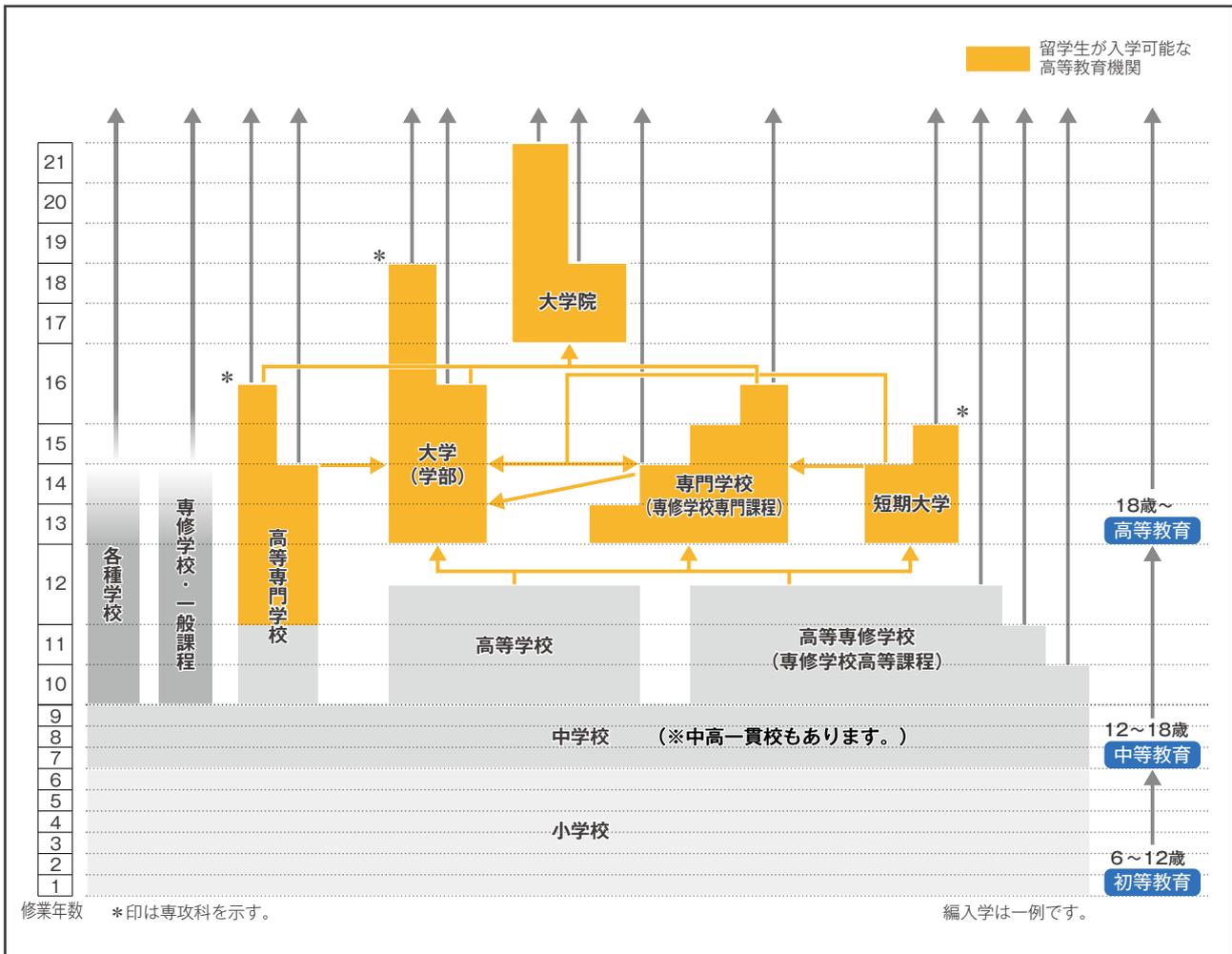


日本
紹介

- Web Japan
<http://web-japan.org/>
- DISCOVER the SPIRIT of JAPAN
<http://www.visitjapan.jp/ja/>
- 日本政府観光局 (JNTO)
<http://www.jnto.go.jp/>

日本の教育制度

日本の高等教育は、初等教育（小学校 6 年間）及び中等教育（中学校 3 年間、高等学校 3 年間）の 12 年間で修了してから始まります。留学生が入学可能な高等教育機関は、①高等専門学校、②専門学校（専修学校専門課程）、③短期大学、④大学（学部）、⑤大学院の 5 つがあります。設置者により、国立・公立・私立に分けられます。



学事歴と学期制

日本の学校は、通常 4 月から翌 3 月までを 1 学年としています。日本の多くの大学がセメスター制（2 学期制）を取り入れており、前期が 4 ～ 9 月、後期が 10 ～ 3 月です。3 学期制やクォーター制（4 学期制）を導入している大学もあります。

Q 日本は 4 月入学が一般的と聞きましたが、9 月入学や 10 月入学を取り入れている大学がありますか？

A あります。特に大学院では 9 月入学や 10 月入学を取り入れている大学が多いです。

Q 長期休暇はいつですか？

A 通常、夏（7 月下旬～9 月上旬）、冬（12 月下旬～1 月上旬）、春（2～3 月）の年 3 回です。

入学資格

日本の大学（学部）・短期大学・専門学校へ入学するためには、原則として、正規の学校教育の12年の課程を修了している必要があります。高等専門学校への編入学は11年、大学院（修士課程）は16年の学校教育の課程を修了していなければなりません。

インド、ネパール、バングラデシュ、マレーシア、ミャンマー、モンゴル等において10年または11年の初等・中等教育を修了した者が日本の大学等に入学する場合は、次のいずれかの条件を満たしている必要があります。

- ① 母国の大学入学前の準備教育課程や大学等の高等教育機関に1年または2年在籍し、正規の学校教育12年目の課程を修了する。
- ② 文部科学大臣が指定する準備教育課程を修了する（日本の高等学校相当の課程を修了した者に限る）。ただし、初等・中等教育の教育課程が12年に満たない課程を修了した者について、文部科学大臣が指定した、当該国での11年以上の課程を修了した場合、準備教育課程を修了しなくても、入学資格があるとみなされます。入学資格があるかどうか不明な場合は、志望校へ問い合わせましょう。

文部科学大臣指定「準備教育課程」

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/search/nihongokyouiku.html

取得できる学位・称号及び修業年限

	課程	取得学位・称号	標準修業年限
大学院	博士課程	博士	5年
	修士課程	修士	2年
	専門職学位課程	修士（専門職）	2年
		法務博士（専門職）	3年
教職修士（専門職）		2年	
大学（学部）	一般の学部、4年制の薬学部	学士	4年
	医学、歯学、獣医学の課程、6年制の薬学部		6年
短期大学	—	短期大学士	2～3年
高等専門学校	—	準学士	3年（商船は3年6ヵ月）
専修学校	専門課程（専門学校）	専門士	2年以上
		高度専門士	4年以上

* 大学院博士課程は前期課程（2年）と後期課程（3年）に分かれている場合がある。学士課程の修業年限が6年である医学・歯学・6年制の薬学部・獣医学は、博士課程の修業年限が4年である。

* 短期大学の卒業後、専攻科（1～2年間）に進み、「学士」の学位取得が可能である。

* 通常、高等専門学校の修了年限は5年であるが、留学生は第3学年への受け入れとなる。卒業後、専攻科（2年）に進み、「学士」の学位取得が可能である。

* 高等専門学校での「準学士」、専門学校での「専門士」及び「高度専門士」は称号である。

大学改革支援・学位授与機構（NIAD-QE）が認定した短期大学・高等専門学校の専攻科を修了し、NIAD-QEの審査に合格すると、「学士」の学位が取得できます。詳細は志望校に確認してください。

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構

<http://www.niad.ac.jp/index.html>

Q 日本で得た学位は他の国でも有効ですか？

A 一般的に日本で得た学位は、他の国々で得た学位と同等の価値を持ちます。ただし、国によっては、教育省や認証評価機関（非営利団体、民間企業等）が、外国で得た学位を評価しているところもあります。あらかじめ母国の関係機関に確認するのがよいでしょう。

日本留学 Q&A

Q 日本国外から、大学に出願したい場合、どのような準備が必要ですか？

A 一般的なスケジュールは次のとおりです。大学に入学する前に来日して、日本語学校で日本語を学んでから、進学する学生もいます。

1 プランニングと情報収集

- 情報収集
- 必要な語学力の確認
- 留学費用の確認



2 学校選択

- 学校案内、募集要項の確認
- 出願資格があるかどうか、学校に確認する
- 各学校を比較し、志望校を絞る



3 統一試験の受験

- 必要な試験を受験する
(例)・日本語留学試験 (EJU)
・日本語能力試験 (JLPT)
・TOEFL[®]、IELTS、TOEIC[®]



4 出願

- 出願書類の準備
- 受験料の送金手続



5 学校独自の入学試験の受験

- (例) 面接
- 学力検査



6 入学手続

- 入学許可書を受け取る
- 入学金の送金手続



7 渡航準備

- 住居を探す
- 航空券・保険の申込み
- 査証 (ビザ) の申請



8 入学

- 日本に渡航する
- 入学手続書類を提出

Q 大学や大学院への出願はいつから始まりですか？

A 出願時期は、学校によって異なります。正確な情報は、学校の募集要項を確認しましょう。JASSO や JAPAN STUDY SUPPORT のウェブサイトに出願期間を調べることもできます。

Q 出願手続きはどうやって確認しますか？

A 多くの学校は募集要項や願書をウェブサイトに掲載しています。「外国人留学生募集要項」「入学案内」または「受験案内」というワードで検索してみましょう。学校のウェブサイトに募集要項を掲載していない学校へは、依頼して、出願の書類を郵送してもらう必要があります。

Q 出願書類の様式は、全ての大学で同じ様式ですか？

A 学校によって、様式が異なりますので、志望校の募集要項を入手しましょう。

Q ①小学校・中学校・高校のうち、数年間日本の学校に在学していた

②日本の高校を卒業した

③日本国籍と別の国籍と、二つの国籍を持っている以上のような場合、外国人入試に出願できますか？

A 出願資格があるかどうか、学校が審査します。**出願前**に学校に連絡して、出願資格があるかどうか確認しましょう。学校によっては、日本人学生と同じ入学試験制度となる可能性もあります。

Q 障害を持っています。入学試験を受ける時や進学後に学校から配慮を受けられますか？

A 障害をもった留学生も、学校からのサポートを受けて、日本で学んでいます。病気、身体的な障害等により、受験時や進学後に、何らかの配慮を希望する場合、**出願前**に学校に相談しましょう。



Q 入学試験を受けるために、日本に行かなければなりませんか？

A 学校によって異なります。学校によっては、書類選考のみで可否を決めたり、インターネットを使って面接を行ったり、受験者の国で試験を実施することがあります。ただし、日本で入学試験を実施する学校が多いです。

Q 大学や専門学校の授業を理解するにはどの程度の日本語能力が必要ですか？

A 学校の授業についていくためには、EJUの日本語科目の点数では、200点以上、日本語能力試験（JLPT）のN1かN2程度の能力が必要です。これに満たしていないようであれば、自分の国で日本語を勉強するか、あるいは日本の日本語教育機関で勉強することをお勧めします。

Q 英語による授業のみで学位を取得することができるプログラムはありますか？

A あります。年々該当プログラムは増えていきます。ただし、高等専門学校、短期大学、専門学校では、英語のみで授業を行うコースがありません。

Q 出願時に「身元保証人」が必要だと指定がありました。どうしてですか？

A 出願時に「身元保証人」が必要な理由は、「学費の経済的保証のため」「入学後の在留手続に問題がないようにするため」等の理由があります。また、学生が留学中に病気やけが等をした際に、母国の家族に、日本から連絡をとってくれる人を決めておくように求められることもあります。

JASSO のウェブサイトには、次の情報を掲載しています！

- 外国人入試の有無
- オンラインでの出願の可否
- 渡日前入学許可制度の有無
- 出願期間
- 英語による学位取得プログラム
- 出願時に必要な日本語能力・英語能力
- 出願時に必要な EJU の点数
- 編入学が可能なコース
- 短期留学プログラム

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/index.html



日本語教育機関

日本語教育機関とは

外国人を対象に、日本語を教える機関です。高等教育機関への進学を目指す学生のために、日本留学試験や日本語能力試験対策のほか、日本留学試験の基礎学力科目（数学・理科・総合科目）や大学入試対策を行っている学校も多くあります。

機関の種類

大学等への進学を目的として日本語を勉強したい場合、日本語教育機関や私立大学・短期大学留学生別科で学ぶことができます。

1 日本語教育機関

設置者：学校法人（専修学校、各種学校）、公益財団法人、株式会社、任意団体、個人等
目的：(1) 進学のための日本語習得 (2) 大学等入学のための準備教育 (3) 進学以外の目的のための日本語教育
在留資格：留学
在留資格「留学」を得られるのは、法務大臣が告示をもって定める日本語教育機関に限られます。

法務大臣が告示をもって定める日本語教育機関（法務省）

http://www.moj.go.jp/nyuukokukanri/kouhou/nyukan_nyukanho_ho28-2.html

日本語教育機関検索（日本語教育振興協会）

<http://www.nisshinkyo.org/search/>

2 私立大学・短期大学留学生別科

設置者：私立大学・短期大学
目的：進学のための日本語習得
在留資格：留学

留学生別科“*Ryugakusei Bekka*”は、日本語別科“*Nihongo Bekka*”とも呼ばれ、私立大学・短期大学に設置されています。日本語や日本文化・日本事情、大学進学のための基礎科目等を学ぶことができます。大学進学希望者の場合、別科を設置している大学への推薦入学制度を利用することもできますが、他の大学に進学することもできます。また、大学の施設やサービスを利用できるといった利点があります。

私立大学・短期大学留学生別科一覧（JASSO）

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/search/nihongokyouiku.html

入学資格

大学進学を目的としたコースの場合、正規の学校教育（小学校、中学校、高校）12年の課程を修了している必要があります。母国の教育制度により、正規の学校教育（小学校、中学校、高校）が12年に満たない場合で、最終学歴が高校卒業で、かつ指定された課程を修了していない場合、日本の大学等への入学資格を満たさないこととなります。その場合、文部科学大臣指定準備教育課程“*Junbi Kyouiku Katei*”を修了し、18歳に達していることで、入学資格を得ることができます。

準備教育課程では、日本語のほか、大学入学に必要な英語、数学、社会、理科などの基礎科目を学びます。

文部科学大臣指定「準備教育課程」（JASSO）

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/search/nihongokyouiku.html

出願・入学・コース期間

入学時期のおよそ6ヵ月前から4ヵ月前に学生を募集し、4月、10月にコースを始める学校が多いです。通常、コースの期間は1～2年です。

出願書類

- 入学願書
- 就学理由書
- 高等学校または大学の成績証明書
- 高等学校または大学の卒業（見込）証明書
- 経費支弁能力を証明する書類
- その他



学校によって提出書類は異なるので、詳しくは志望校に直接問い合わせましょう。

入学試験

書類審査が中心ですが、受験者本人や保護者と面接を行う場合や、筆記試験を行う場合もあります。

日本語教育機関

選択のポイント！

- ① 法務大臣が告示をもって定める日本語教育機関かどうか？
- ② 学ぶ目的は？ 日常会話？大学進学？ビジネス日本語？
- ③ クラス編成 学生の日本語能力にあったレベル分けを行っているか？ 一クラスの人数は？
- ④ 学生数・教員数 学校の規模は？学生数と教員数の割合は？
- ⑤ 学生の出身国割合 漢字圏からの学生が多いか？非漢字圏の学生に対する配慮はあるか？
- ⑥ 授業時間数 総授業時間数や、科目別の授業時間数は？
- ⑦ 試験対策 日本留学試験（EJU）や日本語能力試験（JLPT）の対策を行っているか？基礎科目（英語・数学・理科・世界史・地理等）の授業があるか？
- ⑧ 進路指導や生活相談を行っているか？
- ⑨ 卒業生の進学先はどうか？
- ⑩ 学費 授業時間数、教員数、設備等に見合った金額か？
- ⑪ 入学試験 書類審査だけか？保証人や在日連絡人の面接があるか？日本国外での選考を行っているか？
- ⑫ 学校の所在地 大都市か地方か？気候には適応できそうか？
- ⑬ 住居 学校の寮や宿舎はあるか？アパートを紹介してくれるか？

Q 大学等への進学は予定していません。日本語学校でビジネス日本語だけを学べますか。

A 日本語学校は、学習目的によって様々なコースを設けています。進学コースのほか、生活に必要な日本語やビジネス日本語を学べるコースもあります。詳しくは学校に問い合わせしてみましょう。

Q 入学した日本語学校から、別の日本語学校に転校できますか？

A 原則として、日本語教育機関での転校はできません。学校のウェブサイトや学校案内・学校要覧を見たり、在校生や卒業生から直接話を聞いたりして、しっかり情報収集を行い、慎重に学校を選びましょう。

大学（学部）・短期大学

大学・短期大学とは

高等教育の中核をなす教育機関で、大学は修業年限が原則4年、短期大学は原則2年です。学校によっては、非正規生である聴講生、科目等履修生の制度があります。学位取得を目的とした長期留学の他に、学位取得を目的としない短期留学制度もあります。

調べるには

大学・短期大学情報（JASSO）

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/search/daigakukensaku.html

Japanese Colleges and Universities Search（JASSO）

https://www.g-studyinJapan.jasso.go.jp/univ_search/

大学・短期大学検索（JAPAN STUDY SUPPORT）

<http://www.jpss.jp/ja/>

●私費外国人留学生のための大学入学案内

各大学の入学試験内容、留学生受験合格者数等の貴重な情報を収めたガイドブック。
編集・発行：公益財団法人アジア学生文化協会（日本国内での販売）



入学資格

いずれかの条件を満たしている必要があります。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者
 - ② 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、18歳に達した者
 - ③ 日本において、外国の高等学校相当として指定された外国人学校を修了し、18歳に達した者
 - ④ 外国において、11年以上の、文部科学大臣に指定された課程を修了した者
 - ⑤ 国際バカロレア、アビトゥア、フランスのバカロレア資格を保有するか、GCEA レベル試験について、学校が個別に定める成績を満たし、18歳に達した者
 - ⑥ 国際的な評価団体＜WASC、CIS、ACSI＞の認定を受けた教育施設に置かれる12年の課程を修了し、18歳に達した者
 - ⑦ 高等学校卒業程度認定試験に合格し、18歳に達した者
 - ⑧ 学校教育法に定める上記以外の入学資格のいずれかの条件を満たす者
 - ⑨ 学校において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者
- ※ ①から③について、12年未満の課程の場合、かつ外国において、指定された課程を修了していない場合は、さらに指定された準備教育課程または研修施設の課程等を修了することが必要となる場合があります。

出願書類

- 入学願書（大学所定のもの）
- 高等学校の卒業（見込）証明書
- 高等学校の成績証明書
- 出身高等学校の校長または教員の推薦状
- 日本語能力または英語能力証明書
- その他

学校によって提出書類は異なるので、詳しくは志望校に直接問い合わせましょう。



入学試験

多くの学校では、日本人受験者を対象とした入学試験のほか、外国人（留学生）を対象とした入学試験も行っています。次のような項目を複数組み合わせることで選考します。学校によって試験の方法が異なりますので、学校の受験案内等で確認しましょう。

- 書類審査
- 学力検査
- 面接
- 小論文・作文
- その他の能力・適性等に関する検査
- 日本留学試験（EJU）
- 日本語能力試験（JLPT）
- 大学入試センター試験



卒業・修了するには

1 大学（学部）

以下の要件を満たして大学を卒業すると、「学士」の学位が取得できます。

	標準修業年限	取得単位数
一般の学部、 4年制の薬学部	4年間	124 単位以上
医学・歯学・ 獣医学の課程 6年制の薬学部	6年間	医学・歯学 188 単位以上 獣医学 182 単位以上 薬学 186 単位以上

2 短期大学

以下の要件を満たして短期大学を卒業すると、「短期大学士」の学位が取得できます。

	取得単位数
2年課程	62 単位以上
3年課程	93 単位以上

大学・短期大学

選択のポイント！

- | | |
|--------------|---|
| ① 授業・研究の内容 | 自分が本当に受けたい授業があるか？ 研究ができるか？ |
| ② コース（プログラム） | 日本人と同じ授業を受講するプログラムか？ 英語による授業のみで学位取得をするプログラムか？ 長期プログラムか？ 短期プログラムか？ |
| ③ 研究施設 | 研究のための施設が充実しているか？ |
| ④ 入学試験 | 渡日前入学許可制度があるか？ 留学生のための特別選考があるか？ |
| ⑤ 留学生のサポート体制 | 日本語の補習授業があるか？ 留学生を支援するスタッフ、勉強や生活を助けてくれるチューターがいるか？ 就職支援があるか？ |
| ⑥ 卒業生の進路 | 大学院への進学は？ 就職先は？ |
| ⑦ 学費・その他必要経費 | 初年度は？ 2年目以降は？ 卒業までの総額は？ |
| ⑧ 奨学金等の受給 | 学校独自の奨学金制度や学費免除・減免制度はあるか？ 受給できる確率は？ 渡日前に受給の有無が通知されるか？ |
| ⑨ 住居 | 学校の寮や宿舎はあるか？ アパートを紹介してくれるか？ |
| ⑩ 学校の所在地 | 学校は勉強や生活をしやすい環境にあるか？ 大都市か地方か？ 気候には適応できそうか？ |

編入学・短期留学

編入学・転入学

編入学・転入学制度がある大学は多いものの、実施状況は次のとおりさまざまです。

- 毎年実施するとは限らない。
- すべての学部、学科で実施するとは限らない。
- 既に修了した年数や取得した単位がそのまま認められるとは限らない。

大学（学部）へ編入学・転入学するには、次のうち、いずれかを満たす必要があります。
・短期大学卒業生・高等専門学校卒業生・専門士（専門学校修了者）・高等学校専攻科修了者
・正規の大学課程の1年次以上を修了し、所定の単位を取得した者・4年制大学卒業生

編入学・転入学制度の情報は、一般の入学試験の情報に比べて少ないです。詳細な情報は、早めに志望校に直接問い合わせましょう。

編入学制度がある大学検索（JASSO）

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/search/daigakukensaku.html

短期留学

「短期留学」とは、学位取得を目的としない、おおむね数週間から1学年間の留学です。授業は、日本語で行う場合、英語で行う場合、日本語と英語を両方使う場合があります。プログラムの形態は、短期留学生のための特別クラスを設けている場合や、一般の学部・学科内の授業を履修する等さまざまです。大学を卒業した人であれば、「研究生」として6ヵ月または1年、大学院で専門の研究をすることができます。

・「交換留学」とは、学生交流協定を結んでいる大学に留学する制度です。在籍校に、日本の大学と交流協定があるかどうか確認しましょう。

単位：留学先校で取得した単位は、交流協定の範囲内で在籍校の単位として認められるのが一般的です。

学費：通常、在籍校に支払い、留学先大学の学費は免除されます。

問い合わせ：母国の在籍校

・「交換留学」以外のプログラム

学生交流協定校以外の留学生も参加できるプログラムは、JASSO ウェブサイトで検索できます。

単位：プログラムによって、単位が取得できる場合とできない場合があります。

学費：通常、留学先校に支払います。

問い合わせ：日本の留学先大学

短期プログラムがある大学検索（JASSO）

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/search/daigakukensaku.html

聴講生・科目等履修生

どちらも、学位取得を目的とする正規生ではない「非正規生」です。聴講生は単位取得できませんが、科目等履修生は単位を取得できます。聴講生、科目等履修生として在留資格「留学」を得るには、ともに「1週間につき10時間以上聴講すること」と法令で定められています。

Q 短期留学のための奨学金がありますか？

A 次の奨学金があります。

・海外留学支援制度（協定受入）奨学金

日本学生支援機構（JASSO）では、大学間交流協定等により留学する学生に対して奨学金を支給しています。

月額：80,000円

問い合わせ：母国の在籍校

・日本政府（文部科学省）奨学金 日本語・日本文化研修留学生

大学学部在学中、日本語・日本文化に関する分野を専攻している学生を対象とした奨学金です。

月額：117,000円

問い合わせ：最寄りの日本公館または母国の在籍校

以上のほかにも、学校や各種団体が独自に奨学金を支給している場合がありますので、留学先校に問い合わせてください。

高等専門学校

高等専門学校とは

高等専門学校は、「高専（KOSEN）」とよばれている高等教育機関です。中学校卒業後に5年間（商船に関する学科は5年半）の一貫した教育を行います。通常、外国人留学生は、第3学年に編入学します。

調べるには

国立高等専門学校機構 国際交流センター

<http://ciex.kosen-k.go.jp/menuIndex.jsp?id=32333&menuid=7703&funcid=28>

教育の特徴

- ・ 高度な理論を基礎としながら実験・実習・演習を重視した教育により、世界に通用する技術を学び、最新の科学技術にすぐに対応できる実践的技術者養成機関です。
- ・ 学科の多くは工業分野で、その他に船員養成を目的とした商船学科等もあります。
- ・ 5年の課程を修了した者は「準学士」の称号が取得できます。
- ・ 5年間の教育課程の上にさらに高度な教育を行う2年制の専攻科があります。
- ・ 専攻科を修了し、大学改革支援・学位授与機構（NIAD-QE）の審査に合格すると、「学士」の学位が取得できます。

編入学資格

いずれかの条件を満たしている必要があります。

- ① 外国において、学校教育における11年の課程を修了した者
- ② 外国における、11年の課程修了相当の学力認定試験に合格した者
- ③ 日本において、外国の高等学校相当として指定された外国人学校を修了した者
- ④ 国際バカロレア、アビトゥア、フランスのバカロレア資格を保有した者
- ⑤ 日本において設置された、国際的な評価団体＜WASC、CIS、ACSI＞の認定を受けた外国人学校の11年の課程を修了した者
- ⑥ 高等学校卒業程度認定試験に合格した者
- ⑦ 学校教育法に定める上記以外の入学資格のいずれかの条件を満たす者

出願書類

国立高等専門学校機構（高専機構）で全国の高専の共同選抜試験を実施しているため、出願書類は統一されています。詳しくは、高専機構のウェブサイトで確認しましょう。

入学試験

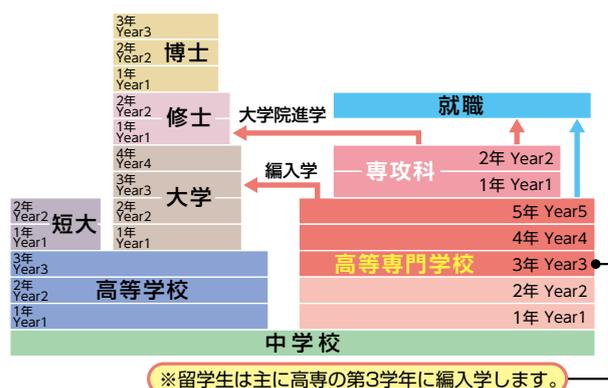
高専機構では以下の項目を総合的に評価して合否判定を行います。

- ① 出願書類
- ② 日本留学試験（EJU）結果
- ③ TOEFL[®]、IELTS、TOEIC[®] いずれかの成績
- ④ 面接の評価

面接は、日本で受ける必要があります。

卒業後の進路

高専を卒業した後は、就職か進学かを選択できます。国立大学に編入学する留学生が多いです。



専門学校

専門学校とは

専修学校の中で専門課程を置くところは高等教育機関の一つで、「専門学校」と呼ばれています。職業や実生活に必要な知識、技術、技能の習得、教養の向上を目的とした教育機関です。

調べるには

専門学校検索

(全国専修学校各種学校総連合会)

<http://www.zensenkaku.gr.jp/association/index.html>

(東京都専修学校各種学校協会)

<http://tsk-school.com/from-now.php>

留学生を受け入れている専門学校リスト (職業教育・キャリア教育財団)

<http://www.sgec.or.jp/ryuugakuguide/>

教育の特徴

専門学校は、日本で社会を支える重要な人材を輩出する学校として認識されており、専門学校を卒業した者は、職場の専門的な技術を修得した人材として期待されています。世界で注目を集めているマンガ、アニメーション、ゲーム、ファッションのような「クールジャパン」と呼ばれるポップカルチャーから、環境エネルギーやIT、医療や福祉の分野等、これからの世界市場で成長が見込まれる産業を支える専門人材を養成しています。また、経済動向にかかわらず、就職率は高い水準を維持しているのも特徴です。

必要な日本語能力

専門学校の授業は、日本語で行われるため、日本語能力が求められます。

次のいずれかを満たす必要があります。

- ① 法務大臣が告示をもって定める日本語教育機関で、6 ヶ月以上の日本語教育を受けた者
- ② 日本国際教育支援協会及び国際交流基金が実施する日本語能力試験 (JLPT) の N1 または N2 に合格した者
- ③ 日本の小学校、中学校、高等学校において1年以上の教育を受けた者
- ④ 日本留学試験 (EJU) (日本語科目 (読解及び聴解・聴読解の合計)) 200 点以上の取得者
- ⑤ 日本漢字能力検定協会が実施する BJT ビジネス日本語能力テスト 400 点以上の取得者

入学資格

いずれかの条件を満たしている必要があります。

- ① 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者
 - ② 外国における、12年の課程修了相当の学力認定試験に合格し、18歳に達した者
 - ③ 日本において、外国の高等学校相当として指定された外国人学校を修了し、18歳に達した者
 - ④ 国際バカロレア、アビトゥア、フランスのバカロレア資格を保有し、18歳に達した者
 - ⑤ 日本において設置された、国際的な評価団体 < WASC、CIS、ACSI > の認定を受けた外国人学校の12年の課程を修了し、18歳に達した者
 - ⑥ 高等学校卒業程度認定試験に合格し、18歳に達した者
 - ⑦ 学校において個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、18歳に達した者
 - ⑧ 学校教育法に定める上記以外の入学資格のいずれかの条件を満たす者
- ※ ①～③について、12年未満の課程の場合は、さらに指定された準備教育課程又は研修施設の課程等を修了する必要があります。

出願書類

- 入学願書（学校所定のもの）
- 高等学校の卒業証明書
- 最終学校の成績証明書
- 日本語教育機関出席・成績証明書（日本国内在住の場合）
- 日本語能力証明書（海外在住の場合）
- その他



学校によって提出書類は異なるので、詳しくは志望校に直接問い合わせましょう。

入学試験

書類審査、学力審査、面接、作文、適正検査、実技試験、日本語科目試験等を複数組み合わせで行います。入学試験では、いずれの分野でも①目的意識 ②入学後の授業についていける日本語能力及び学力の有無 ③勉強する意欲を中心に審査されます。

卒業・修了するには

	専門士	高度専門士
修業年限	2年以上	4年以上
授業時間	1,700時間以上	3,400時間以上
修了認定	試験等により成績を評価し課程修了の認定を行う	
課程編成	体系的に教育課程が編成されていること	

以上の要件を満たし、文部科学大臣が認めた学科を修了すると「専門士」や「高度専門士」の称号が得られます。「専門士」を得た場合には大学編入学、「高度専門士」を得た場合には大学院への入学資格を認めている大学もありますので、志望校に確認してみましょう。

専門学校に設置されている日本語学科は、ほとんどの場合、日本語教育機関としての位置づけです。「専門士」の称号が得られる課程かどうかは、学校に確認しましょう。

専門学校

選択のポイント！

- ① 正式な認可学校 所轄をする都道府県知事の認可を受けている学校か？
無許可校では「専門士」の称号は得られません。
- ② 教育内容・教員数 カリキュラムは？ 学生数と教員数の割合は？
- ③ 施設・設備 技術等が習得できる施設や設備は整っているか？
写真や資料で確認しましょう。
- ④ 就職指導体制・卒業生の進路 就職についての指導方針は？ 卒業生の就職先は？
- ⑤ 学費 初年度は？ 卒業までの総額は？ いつ払う？
- ⑥ 周囲の評判 卒業生や留学生のネットワーク等を利用しましょう。



大学院

調べるには

大学院情報 (JASSO)

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/search/daigakukensaku.html

大学院検索 (JAPAN STUDY SUPPORT)

<http://www.jpss.jp/ja/>

入学資格

いずれかの条件を満たしている必要があります。

1 修士課程・博士課程（前期）

- ① 日本の大学を卒業した者
- ② 大学改革支援・学位授与機構 (NIAD-QE) により学士の学位を授与された者
- ③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
- ④ 外国の大学、外国に置かれている学校のうち大学に相当する学校において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者
- ⑤ 日本において、外国の大学の課程を有するものとして指定された教育施設の 16 年の課程を修了した者
- ⑥ 指定された専門学校を修了した者
- ⑦ 大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者

2 博士課程（後期）

- ① 日本の修士の学位や専門職学位を有する者
- ② 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- ③ 日本において、外国の大学院の課程を有するものとして指定された課程を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者
- ④ 大学を卒業し、大学、研究所（外国の大学・研究所を含む）等において 2 年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認められた者
- ⑤ 大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、24 歳に達した者

3 博士課程（医学、歯学、一部の薬学課程、獣医学）

医学、歯学、一部の薬学課程、獣医学の課程に出願する際は、出願前に各大学にお問い合わせください。

出願書類

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> 入学願書（大学院所定のもの） | <input type="checkbox"/> 推薦状 |
| <input type="checkbox"/> 大学学部卒業（見込）証明書 | <input type="checkbox"/> 出身大学における研究（卒業）論文とその要旨 |
| <input type="checkbox"/> 修士学位取得（見込）証明書
（博士課程の場合） | <input type="checkbox"/> 研究計画書 |
| <input type="checkbox"/> 最終学校の成績証明書 | <input type="checkbox"/> その他 |

学校によって提出書類は異なるので、詳しくは志望校に直接問い合わせましょう。

出願時期

夏から10～11月に募集するケースが多く、1～3月に募集するケースもあります。入学時期はどちらも4月であるケースが多いです。9月入学や10月入学を実施している学校もあります。

入学試験

次のような項目を複数組み合わせることで選考します。学校によって試験の方法が異なりますので、学校のウェブサイト等で確認しましょう。

- ・書類審査
- ・学力検査
- ・面接
- ・小論文・作文
- ・専攻科目に関する口頭試問

指導教員

指導教員とは履修計画や研究の指導をしてくれる教員のことです。基本的には自分で探す必要があります。学校によっては、出願の前に指導教員を探し、予め、受け入れの内諾を得ておく必要があります。

- <指導教員の探し方>
- ・出身大学の指導教員から紹介してもらう
 - ・学会誌、元日本留学生、自国の研究者等から情報を得る
 - ・ウェブサイト等

研究者検索

- ・ **researchmap** <http://researchmap.jp/search/>
- ・ **J-GLOBAL** <http://jglobal.jst.go.jp/>

<教員と連絡を取る場合>

これまでのあなたの研究成果や今後の研究計画、その教員を選んだ理由等を具体的に明記し、できればあなたの出身大学の指導教員等の推薦状をつけるのがよいでしょう。相手はあなたのことを書面からでしか判断できないので、何回もやりとりを重ね、あなたの熱意を伝えることが必要です。

研究計画書

研究計画書とはテーマを定めて、それについてどのように研究するのかをまとめた文書です。ほとんどの大学院で、研究計画書の提出が求められます。内容は、研究の目的、背景、意義、方法、参考文献等です。書式や文字数は学校によって異なります。一般的には、2,000字程度です。研究計画書を作成するには、自分が研究したい分野の論文を探し、どこまで研究が進んでいて、どのような課題が残されているかを調べるのが大切です。

論文検索

- ・ **CiNii Articles** <http://ci.nii.ac.jp/>
- ・ **Article Search Cross** <https://gross.atlas.jp/top>



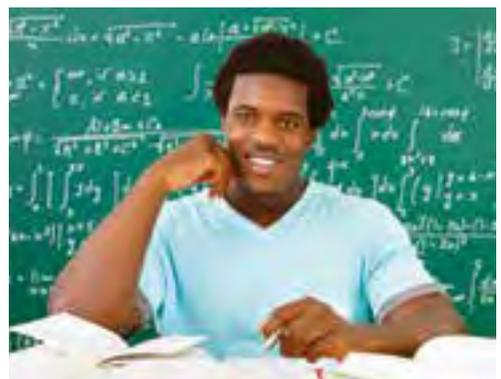
●実践 研究計画作成法

研究計画書の書き方や口頭試問の準備について学べます。

著作：JASSO

発行：株式会社凡人社

(日本国内での販売)



研究生 (Research student)

研究生とは次のような非正規の学生に与えられる身分です。

- ① 学位の取得を目的とせず、短期間の研究活動のために在籍している者
- ② 大学間交流協定等に基づく短期留学生として在籍している者
- ③ 大学院正規課程の入学への準備期間として在籍している者

書類選考だけで入学許可を与えるところが多数です。

専ら聴講による研究生として「留学」の在留資格を得るためには、1週間につき10時間以上聴講することが必要です。

大学院正規課程へ進学する際に、直接、正規課程への受験を認めている大学院もあれば、「研究生」の課程を経てから、大学院正規課程に進むことが望ましいとしている大学院もあります。

専門職大学院

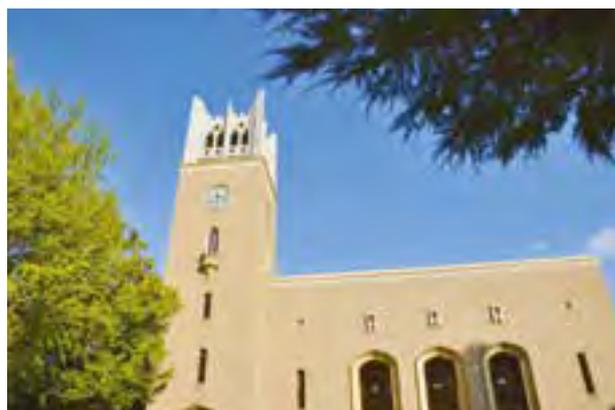
高度な専門能力を備え、社会・経済の各分野でリーダーとなって活躍できる職業人の養成を目指す教育課程です。代表的なものは、法律に関する職業人を養成する法科大学院や、教員養成の教職大学院、その他ビジネス・MOT分野、会計分野、公共政策分野等の専門職大学院があります。英語で学べるMBAプログラムもあります。

修了するには

課程	取得学位	標準修業年限	取得単位	その他
博士課程	博士	5年	30単位以上（修士課程における取得単位を含む）	博士論文の審査及び試験に合格
修士課程	修士	2年	30単位以上	修士論文の審査及び試験に合格
専門職学位課程	修士（専門職）	2年	30単位以上（法科大学院や教職大学院では取得単位数が異なる）	
	法務博士（専門職）	3年		
	教職修士（専門職）	2年		

* 大学院博士課程は前期課程（2年）と後期課程（3年）に分かれている場合がある。

* 修士課程の修業年限が6年である医学・歯学・6年制の薬学部・獣医学は、博士課程の修業年限が4年である。



英語による学位取得コース

調べるには

英語による授業のみで学位取得できるプログラム

入学時に日本語能力を求めないプログラム (JASSO)

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/search/daigakukensaku.html

大学・短期大学検索 (JAPAN STUDY SUPPORT)

<http://www.jpss.jp/ja/>

入学時に日本語能力が求められないプログラムには次のパターンがあります。

- 英語による授業のみで学位を取得するプログラム
- 入学試験では日本語能力を求めず、英語による授業を履修しながら、学年が上がるにつれ、日本語能力を要する授業も履修していくプログラム

大学や大学院では、英語による授業のみで学位を取得できるプログラムがありますが、高等専門学校や専門学校には、英語のみで授業を行い「準学士」や「専門士」の称号が与えられるプログラムがありません。英語によるプログラムには、“Degree program in English”, “Degree program for International Students”, “English-based Degree Programs” 等の名称がついています。

Q 選考方法はどんなになっていますか？

A 書類審査と面接で合否を決める大学が多いです。面接は、あなたが住んでいる国・地域で行うほか、ビデオチャット等のオンライン面接を取り入れている大学もあります。

Q 出願のために、特別な試験を受けておく必要がありますか？

A 英語能力証明書 (TOEFL[®]、IELTS 等の公的試験の成績証明書) や、学力証明書 (学部の場合は、日本留学試験 (EJU)、Scholastic Assessment Test (SAT)、自国の高校卒業統一試験等の成績証明書) が必要な場合があります。

Q 英語能力はどのくらい必要ですか？

A 学校によって異なりますが、目安として、次の英語能力を、出願時に求める学校が多いです。

	TOEFL iBT	IELTS
大学院	75-80	6
学部	71-80	5.5-6

Q 入学後に日本語の授業を受けられますか？

A 大学によっては、留学生のための日本語教育プログラムを設けていることがあります。ただし、単位が認められる場合と、認められない場合があります。また、別途受講料が必要な場合もあります。

日本留学試験 (EJU)

日本留学試験 (EJU) は、日本の大学 (学部) 等へ留学を希望する人の日本語能力と基礎学力 (理科・総合科目・数学) を測る試験です。

日本留学試験 (EJU) (JASSO)

 http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/eju/index.html

 過半数の日本の大学等 (国立大学は、ほぼすべて) が、入学選考に EJU の成績を利用しています。

日本留学試験 (EJU) 利用校数

大学	421 校
短期大学	79 校
大学院	50 校
高等専門学校	51 校
専門学校	114 校
合計	715 校

(2016年3月現在)

入学試験に日本留学試験 (EJU) を利用している学校

 http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/eju/examinee/use/index.html

実施時期

6月 (第1回)、11月 (第2回)

実施会場

日本国内：16 都市 日本国外：14 カ国・地域、17 都市

科目

志望校が指定する科目を選択します。理科と総合科目は同時に選択することはできません。



EUJ実施都市 (日本以外)

ウラジオストク、ウランバートル、クアラルンプール、
コロンボ、ジャカルタ、シンガポール、スラバヤ、
ソウル、台北、ニューデリー、ハノイ、バンコク、
プサン、ホーチミン、香港、マニラ、ヤンゴン

科目	目的	時間	得点範囲	科目選択	出題言語
日本語	日本の大学等での勉学に対応できる日本語力 (アカデミック・ジャパニーズ) を測定する。	125 分	読解・聴解・聴読解 0 ~ 400 点 記述 0 ~ 50 点	物理・化学・生物から 2 科目選択	日本語のみ
基礎学力	日本の大学等の理系学部での勉学に必要な理科 (物理・化学・生物) の基礎的な学力を測定する。	80 分	0 ~ 200 点		
基礎学力	日本の大学等での勉学に必要な文系の基礎的な学力、特に思考力、論理的能力を測定する。	80 分	0 ~ 200 点	コース 1 (文系学部及び数学を必要とする程度が比較的少ない理系学部用)、コース 2 (数学を高度に必要とする学部用) のどちらかを選択	日本語または英語 (選択)
基礎学力	日本の大学等での勉学に必要な数学の基礎的な学力を測定する。	80 分	0 ~ 200 点		

スケジュール

		第1回	第2回	
①	出 願	2~3月	7月	受験者は、受験案内を手に入れて、受験料を払って願書を出す。 ※ 出願期間は、毎年変わるので、必ず確認すること。
②	受験票受取	5月	10月	受験票が送られてくる。
③	試 験 日	6月	11月	受験する。
④	成績通知書受取	7月	12月	成績通知書が送られてくる。 受験者が出願した学校からの照会に応じて、JASSO は受験者の成績を学校に提供する。

EJU の特徴

①奨学金の予約制度が利用できます！

EJU で優秀な成績を修めて、日本の大学（学部）、短期大学、高等専門学校（第3 学年以上）または専門学校に正規生として入学する私費外国人留学生は、JASSO の奨学金「文部科学省外国人留学生学習奨励費」の給付予約ができます。

金 額：月額 48,000 円（2016 年度）

申込方法：EJU 出願時に提出する「受験願書」の所定の欄に○印をつける。

選考方法：EJU の成績優秀者から選考

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/shoureihi/yoyakuseido/index.html

②受験回数や年齢制限なし！成績の有効期間は2年間！

EJU は何回でも受験することができます。年齢制限もありません。成績の有効期間は2 年（最大で過去4 回分の成績が利用可能）ですが、一つの学校に対して提出できる成績は、そのうち1 回分のみです。いつ実施された試験を入学選考の対象とするかを指定する学校が多いので、必ず志望校の募集要項を確認してください。

（例）A 大学募集要項

学部等	日本語	総合科目	数学	理科				基礎学力 出題言語	有効な成績
				物理	化学	生物	科目選択		
法学部	○	○	コース1					日本語	2016年6月・11月実施分
工学部			コース2	○			他1科目 自由選択	英語	2016年6月実施分

③ EJU を利用して、日本に行かずに、あなたの国・地域で入学許可を得られる渡日前入学許可をもらおう！

EJU を利用して渡日前入学許可を行う大学等一覧（約 140 校）

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/eju/examinee/prearrival/uni_national.html

EJU 過去問題

日本留学試験 (EJU) 過去問題サンプル

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/eju/examinee/pastpaper_sample.html



●日本留学試験試験問題 聴解・聴読解問題 CD 付

過去に出題された EJU 試験問題

著作・編集：JASSO 発行：株式会社凡人社

（日本及び韓国での販売）



問い合わせ

〈日本国外〉 http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/eju/examinee/contact/index.html

〈日本国内〉 日本学生支援機構 (JASSO) 留学試験課 TEL : +81-3-6407-7457 Email : eju@jasso.go.jp

日本留学に必要な各種試験

日本語能力試験 (JLPT)

日本語を母語としない者を対象に、日本語能力を測定し、認定することを目的に行われる試験です。7月と12月に、日本国内外で実施されます。

①日本国内実施

公益財団法人 日本国際教育支援協会 (JEES) 日本語教育普及課

〒153-8503 東京都目黒区駒場 4-5-29

TEL: (+81) 3-6686-2974

(日本語能力試験受付センター/平日 10:00 ~ 17:00)

<http://info.jees-jlpt.jp/>

②日本国外実施

独立行政法人 国際交流基金 日本語試験センター

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-3 8階

TEL: (+81) 3-5367-1021

<http://www.jlpt.jp/>



BJT ビジネス日本語能力テスト

ビジネス場面で必要とされる日本語コミュニケーション能力を測定する試験です。

公益財団法人 日本漢字能力検定協会

〒600-8585 京都府京都市下京区烏丸通松原下る五条烏丸町 398

TEL: 0120-509-315 (日本国内のみ)

Email: bjt@kanken.or.jp

<http://www.kanken.or.jp/bjt/>

大学入試センター試験

日本人学生が国公立大学や一部の私立大学(学部)に入学する際、受験します。外国人留学生に対しては、大部分の大学は受験を必要としていませんが、一部の大学の学部(主として医学部、歯学部)に出願する場合には受験を必要とする学校があります。

独立行政法人 大学入試センター

〒153-8501 東京都目黒区駒場 2-19-23

<http://www.dnc.ac.jp/>

日本留学に必要な試験は、他にも次のような試験があります。

- 英語能力を証明するもの …………… TOEFL[®]、IELTS、TOEIC[®]、実用技能英語検定(英検)
- 中等教育修了の学力を証明するもの … Scholastic Assessment Test (SAT)、American College Test (ACT)、International Baccalaureate Exams、自国の大学入学統一試験等の成績

志望校の募集要項を確認し、指定された試験を受験しましょう。

留学生に聞きました!

～これから留学する人へのアドバイス～

言葉もそうですが、母国との文化の違いを強く感じました。日本人は時間に厳しく、5分前行動が必要だと思いました。

日本の「100円ショップ」は品揃えが驚くほど充実しています。是非皆さんも利用してみてください!

チップが当たり前の国もありますが、日本ではチップは不要です。

日本では現金払いが一般的で、現金以外での支払いを取り扱っていないお店もたくさんあります。クレジットカードのみの生活は難しいと思います。

電車が時間どおりに来ます。私の国では遅延があって当たり前ですが、日本の公共交通機関は驚く程時間に正確です。

落としたお財布とスマートフォンが無事に戻ってきた! 日本人は拾ったものをきちんと交番に届ける正直者の国民性で、感動しました!



一から家電製品を揃えるのは大変だったので、リサイクルショップを活用しました。



日本語を楽しく学習するには、アニメや漫画を使って学ぶことがお勧めです。ただ、作文や小論文・面接試験等の対策には、日本の新聞や雑誌等で文法の使い方を学ぶことも必要だと思います。

公共の場で大きい声で話すことや、順番を守らない等はタブーです。日本は公共の場でのマナーに厳しいです。

入国手続

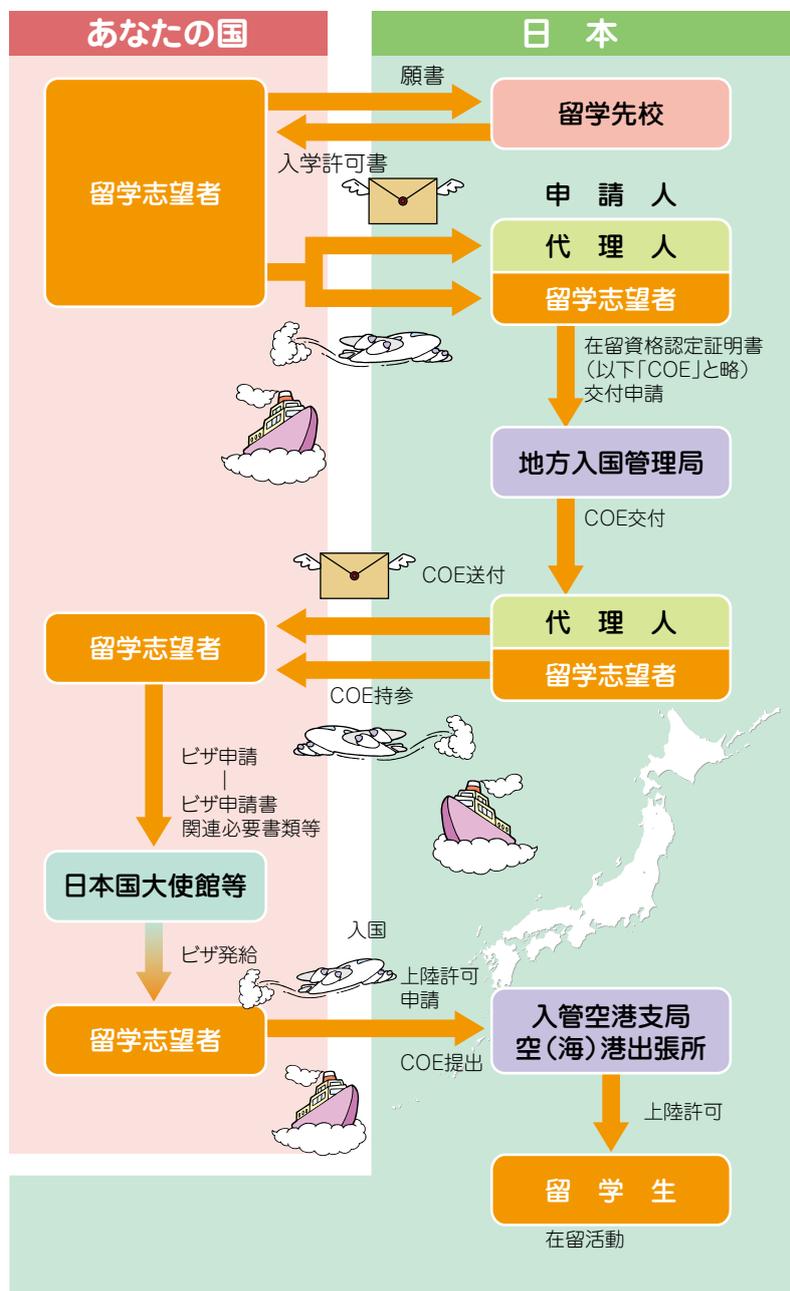
法務省入国管理局 <http://www.immi-moj.go.jp/>

● あなたはどの在留資格？

外国人が日本でできる活動や、身分または地位の種類によって、在留資格が決められています。日本の大学、短期大学、高等専門学校、専門学校、日本語教育機関等で学ぶための在留資格は「留学」です。留学の在留期間は、4年3カ月、4年、3年3カ月、3年、2年3カ月、2年、1年3カ月、1年、6カ月または3カ月です。

❗ 留学生対象の奨学金や宿舎は、申し込みの際、在留資格が「留学」であることが条件になっているものが多いです。

【在留資格認定証明書（COE）の交付による入国手続の方法】



● 査証（ビザ）申請手続

日本に入国するためには、あらかじめ、査証の発給を受けていなければなりません。査証（ビザ）申請には、「在留資格認定証明書（COE）」を提示する方法と、提示しない方法の二つがあります。「在留資格認定証明書（COE）」を提示する方法のほうが、手続きの時間が短いです。

● 在留資格認定証明書（COE）の交付申請

「在留資格認定証明書（COE）」は、留学志望者本人（申請人）または代理人（申請者の親族や受入れ教育機関の職員等）が、日本国内の地方入国管理局に申請します。

留学志望者本人による交付申請も可能ですが、受入れ教育機関が代理で申請する場合があります。必要書類は、入学する学校に問い合わせてください。

● 日本に滞在するための経費支弁能力を証する書類

在留資格認定証明書、査証等の申請の際、あなたの日本留学中に発生する経費が十分に準備されていることが証明できる証拠を提出するよう、求められることがあります。

通常、預金残高証明書、過去数年間の収入証明書、課税証明書等が必要です。留学を希望する外国人が自分で経費を支払うことができない場合には、通常、保護者等が経費支弁者となります。

● 査証（ビザ）申請の必要書類

「在留資格認定証明書（COE）」が交付されたら、母国の在外日本国公館で査証を申請します。

- 【必要書類】**
- ① パスポート
 - ② 査証申請書
 - ③ 写真
 - ④ 在留資格認定証明書（COE）
 - ⑤ その他の書類を提出するよう求められる場合があります。

● 日本への入国

入国時には次の書類が必要です。

- 【必要書類】**
- ① 旅券（パスポート）
 - ② 在外日本国公館からの査証（ビザ）
 - ③ 在留資格認定証明書（COE）（交付を受けた場合）

● 在留カード

在留期間が3カ月を超える外国人には、「在留カード（RESIDENCE CARD）」が交付されます。在留カードは常に携帯しなければなりません。



在留カード

【在留カードの交付】

新千歳・成田・羽田・中部・関西・広島・福岡空港から入国する場合：

入国審査時に、旅券に「上陸許可」のスタンプが押され、在留カードが交付されます。日本での住居地が決まったら、14日以内に、在留カードを持参のうえ、住居地の市区町村の役所の窓口へ行きます。

上記の空港以外から入国した場合：

入国審査時に、パスポートに「在留カード後日交付」の印が押されます。在留カードは住居地の市区町村の役所の窓口へ届出をした後に、届け出た住居地に郵送されます。

● マイナンバー (Social Security and Tax Number)

住居地の市区町村の役所の窓口で住民登録をすると、外国人であっても、マイナンバー（個人番号）を通知するカードが送付されます。マイナンバーは、一人に一つだけの番号で、役所などで手続きをする際に必要です。12桁の番号ですが、在留カードに記載されている12桁の番号とは異なります。

マイナンバーは、次のような場合に提出を求められることがありますので、個人番号が書いてある「通知カード」や「個人カード」は大切に保管してください。

- 役所で手続きするとき
- アルバイトをするとき



通知カード

● 受験のための渡日手続

受験のために日本に来る場合は、渡日前に、受験する学校の受験票をもって在外日本国公館で「短期滞在」査証を取得しておく必要があります。滞在できる期間は15日、30日または90日です。ただし、査証免除対象国の方は査証申請の必要はありません。

● 資格外活動許可

在留資格「留学」は、日本の学校で教育を受けるためのものであり、働くことは認められません。ただし、地方入国管理局等で、手続きを行い、「資格外活動許可」を受けることによって、アルバイトをすることができます。また、大学院・大学学部・短期大学・高等専門学校・専門学校卒業後に在留資格「特定活動」で就職活動を継続している場合も、「資格外活動許可」を受けることによって、アルバイトをすることができます。

● 一時帰国手続

日本にいる外国人が、在留期間内に、一時的に帰国したり、他の国へ行く場合には、出国する前に、地方入国管理局等で再入国の許可を受けておかないと、在外日本国公館で、再度、査証を取得する必要がありますので、気をつけましょう。ただし、有効な旅券（パスポート）及び在留カードを所持する中長期在留者の方は出国時に再び入国する意図を表明して出国から1年以内（1年以内に在留期限が来る者は在留期限まで）に再入国する場合に限り、原則として出国する前に再入国の許可を受ける必要はありません。

! 出国する際に、必ず在留カードを提示するとともに、再入国出国用 ED カードの所定の欄にチェックしてください。



再入国出国用 ED カード



● 在留期間の更新

入国の時に決められた在留期間の満了日を超えて引き続き滞在する場合には、地方入国管理局等で在留期間更新の許可申請をしなければなりません。(通常、期間満了の3ヵ月前頃から受付) 在留期間の満了日を超えて不法に滞在すると、処罰されたり強制退去になります。

● 在留資格の変更

今行っている活動をやめて、他の在留資格にあたる活動を行おうとする時は、地方入国管理局等で在留資格の変更許可を受けなければなりません。

! 許可を受けずに収入を伴う事業をしたり、報酬を受ける活動を行うと、処罰されたり強制退去になります。

● 在留資格の取消し

申請者が行おうとする活動や経歴を偽ったり、偽造書類を提出した場合等、在留資格が取り消されます。

! 在留資格「留学」であるにもかかわらず、学校に行かず働いているなど、今持っている在留資格の活動を3ヵ月以上行っていない場合にも、正当な理由がある場合を除いて、在留資格は取消しの対象となります。

● 家族の呼び寄せ

「留学」の在留資格を持ち、大学、短期大学、高等専門学校、専門学校、準備教育課程等で教育を受ける者の扶養を受ける配偶者または子どもは、「家族滞在」の在留資格で、日本に滞在することができます。

期間は扶養者の在留期間に応じます。留学生本人が日本の生活に慣れ、経済的な面を含めて準備ができてから家族を呼び寄せることをおすすめします。

! 扶養家族が「短期滞在 (Temporary visitor)」（通称「観光ビザ」）で入国した場合、日本国内で「家族滞在 (Dependent)」の在留資格に変更することは難しいので十分に注意してください。

● 入国管理局・市区町村役場への届出

氏名、生年月日、性別、国籍・地域に変更があった場合や、ほかの学校へ転校する等所属する機関に変更があった場合には、変更があった日から14日以内に地方入国管理局等に届け出る必要があります。また、住居地に変更が生じた場合は、市区町村役場に届出が必要です。



学費

日本の学校の学費はアメリカやイギリスの大学と比べても高くはありません。
また、奨学金制度や授業料免除・減免制度も他国に比べて充実しています。
初年度学費には、入学金、授業料、施設・設備費等が必要です。なお、入学金は初年度のみ必要です。

初年度学費平均 (1米ドル=117円で計算)

●大学院

大学院		授業料等		入学金		合計		
		円	米ドル	円	米ドル	円	米ドル	
国立		535,800	4,579	282,000	2,410	817,800	6,990	
公立		537,883	4,597	363,436	3,106	901,319	7,704	
私立	修士課程	芸術	1,217,438	10,405	225,089	1,924	1,442,527	12,329
		工学	953,229	8,147	224,301	1,917	1,177,530	10,064
		保健	889,264	7,601	250,675	2,143	1,139,939	9,743
		理学	833,017	7,120	213,951	1,829	1,046,968	8,948
		農学・獣医学	781,229	6,677	222,787	1,904	1,004,016	8,581
		薬学	754,132	6,446	229,639	1,963	983,771	8,408
		家政	724,971	6,196	239,643	2,048	964,614	8,245
		教養	741,106	6,334	207,014	1,769	948,120	8,104
		社会科学	684,735	5,852	222,294	1,900	907,029	7,752
		人文科学	645,783	5,520	211,883	1,811	857,666	7,330
	博士課程	医学	663,835	5,674	208,899	1,785	872,734	7,459
		芸術	1,100,482	9,406	227,752	1,947	1,328,234	11,352
		保健	782,867	6,691	253,665	2,168	1,036,532	8,859
		理学	793,512	6,782	223,650	1,912	1,017,162	8,694
		農学・獣医学	783,912	6,700	220,853	1,888	1,004,765	8,588
		工学	786,853	6,725	214,182	1,831	1,001,035	8,556
		家政	720,910	6,162	240,309	2,054	961,219	8,216
		薬学	709,251	6,062	195,977	1,675	905,228	7,737
		教養	681,025	5,821	214,912	1,837	895,937	7,658
		歯学	648,325	5,541	232,075	1,984	880,400	7,525
社会科学	612,383	5,234	214,148	1,830	826,531	7,064		
人文科学	584,597	4,997	219,107	1,873	803,704	6,869		
医学	521,091	4,454	182,991	1,564	704,082	6,018		

出典：文部科学省

※公立の入学金は地域外の場合

●大学学部

大学学部		授業料等		入学金		合計	
		円	米ドル	円	米ドル	円	米ドル
国立		535,800	4,579	282,000	2,410	817,800	6,990
公立		537,857	4,597	397,721	3,399	935,578	7,996
私立	医	3,561,941	30,444	1,299,019	11,103	4,860,960	41,547
	歯	3,579,981	30,598	608,764	5,203	4,188,745	35,801
	薬	1,714,920	14,657	349,116	2,984	2,064,036	17,641
	芸術	1,390,959	11,889	260,300	2,225	1,651,259	14,113
	保健	1,224,660	10,467	280,696	2,399	1,505,356	12,866
	理・工	1,176,913	10,059	249,251	2,130	1,426,164	12,189
	農・獣医	1,105,816	9,451	253,383	2,166	1,359,199	11,617
	体育	1,013,103	8,659	260,632	2,228	1,273,735	10,887
	家政	989,372	8,456	265,289	2,267	1,254,661	10,724
	文・教育	930,144	7,950	246,294	2,105	1,176,438	10,055
	社会福祉	930,119	7,950	224,296	1,917	1,154,415	9,867
	法・商・経	884,841	7,563	241,519	2,064	1,126,360	9,627
	神・仏教	873,190	7,463	234,574	2,005	1,107,764	9,468

出典：文部科学省

※公立の入学金は地域外の場合

●短期大学

短期大学		授業料等		入学金		合計	
		円	米ドル	円	米ドル	円	米ドル
私立	芸術	1,121,519	9,586	254,767	2,177	1,376,286	11,763
	工	1,031,697	8,818	211,253	1,806	1,242,950	10,624
	理・農	921,331	7,875	227,246	1,942	1,148,577	9,817
	人文	854,027	7,299	245,739	2,100	1,099,766	9,400
	教・保育	848,820	7,255	250,624	2,142	1,099,444	9,397
	家政	852,357	7,285	246,367	2,106	1,098,724	9,391
	法・商・経・社	849,699	7,262	235,300	2,011	1,084,999	9,273
	体育	804,857	6,879	238,571	2,039	1,043,428	8,918

出典：文部科学省

●高等専門学校

高等専門学校		授業料等		入学金		合計	
		円	米ドル	円	米ドル	円	米ドル
国立		234,600	2,005	84,600	723	319,200	2,728

出典：国立高等専門学校機構

●専門学校

専門学校		授業料等		入学金		合計	
		円	米ドル	円	米ドル	円	米ドル
私立	衛生	1,286,500	10,996	170,500	1,457	1,457,000	12,453
	医療	1,135,000	9,701	251,429	2,149	1,386,429	11,850
	農業	1,028,000	8,786	180,000	1,538	1,208,000	10,325
	工業	1,001,000	8,556	196,250	1,677	1,197,250	10,233
	文化・教養	1,017,333	8,695	153,555	1,312	1,170,888	10,008
	商業実務	969,250	8,284	135,500	1,158	1,104,750	9,442
	教育・社会福祉	949,333	8,114	151,333	1,293	1,100,666	9,407
	服飾・家政	825,000	7,051	177,000	1,513	1,002,000	8,564

出典：東京都専修学校各種学校協会
※私立専門学校は昼間部の平均額

●日本語教育機関

私立大学・短期大学 留学生別科

	授業料等	
	円	米ドル
1年コース	400,000～925,000	3,419～7,906
1年半コース	642,000～1,300,000	5,487～11,111
2年コース	640,000～1,280,000	5,470～10,940

出典：日本学生支援機構

日本語教育機関

	授業料等	
	円	米ドル
1年コース	415,000～997,400	3,547～8,525
1年半コース	760,000～1,530,000	6,496～13,077
2年コース	1,026,000～2,000,000	8,769～17,094

出典：日本語教育振興協会

奨学金

日本は外国人留学生に対する授業料免除・減免制度や奨学金制度等の資金援助制度が充実していますが、次の点に注意しましょう。

- ・多くの奨学金は、学校に入学してから申し込みます。
- ・留学経費を全てカバーできる奨学金はほとんどありません。
- ・アルバイトで、学費と生活費を両方支払うことはできません。
- ・日本に来る前に、資金計画をしっかりとたてましょう。



留学生対象の奨学金は、申し込みの際、在留資格が「留学」であることが、応募条件になっているものが多いです。日本国籍を持っていたり、在留資格「家族滞在」等の場合は、応募対象外となることが大半ですので、注意しましょう。

また、奨学金によって、年齢、出身国・地域、日本での在籍校及び専攻分野等、応募条件に指定があります。

奨学金情報の調べ方

日本留学奨学金 (JASSO)

 http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/index.html

1 志望校の制度を調べる

学生の成績や所得に応じて、入学金や授業料を免除・減額にする制度を設けている学校が多くあります。まず、志望校に授業料免除制度や奨学金制度があるかどうか、調べてみましょう。大学独自の奨学金等については、JASSO ウェブサイトで調べることができます。例えば、日本に来る前に、奨学金がもらえるかどうか、学校から通知されるかどうかを調べることができます。

2 日本政府や民間団体の奨学金を調べる

学校独自の奨学金のほかにも、多くの奨学金があります。「日本留学奨学金パンフレット」に次の奨学金の情報を掲載しています。

- ・日本政府（文部科学省）奨学金
- ・日本学生支援機構（JASSO）奨学金
- ・地方自治体・関連国際交流団体奨学金
- ・民間奨学団体奨学金
- ・日本に来る前に応募できる奨学金



「日本留学奨学金パンフレット」(日本語版・英語版)

※日本にある奨学金情報の全てがパンフレットに掲載されているわけではありません。

作成：日本学生支援機構 (JASSO)

 http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/brochure.html

次のウェブサイトからも、奨学金情報を検索できます。

JAPAN STUDY SUPPORT  <http://www.jpss.jp/ja/scholarship/>

3 日本政府（文部科学省）奨学金の詳細情報を調べる

最寄りの日本大使館や領事館のウェブサイトに案内が掲載されます。

日本政府（文部科学省）奨学金については、「日本留学奨学金パンフレット」に情報が記載されているほか、「日本留学総合情報ガイド」にも、制度の概要や過去の学科試験問題が掲載されています。

日本留学総合情報ガイド

 <http://www.studyjapan.go.jp/jp/toj/toj0302j.html>

4 以上の奨学金のほか、母国の政府、世界銀行等の国際機関の奨学金も調べてみましょう。

日本に来る前に応募する奨学金

1 日本政府（文部科学省）奨学金

問い合わせ：最寄りの在外日本公館、母国の在籍校

※一部の国ではお住まいの国の政府機関が窓口になっている場合があります。

対象	月額（2015年度実績）		（参考）
ヤング・リーダーズ・プログラム（YLP）留学生	242,000円		約 2,068米ドル
研究留学生	非正規生	143,000円	約 1,222米ドル
	修士課程	144,000円	約 1,231米ドル
	博士課程	145,000円	約 1,239米ドル
教員研修留学生	143,000円		約 1,222米ドル
学部留学生／高等専門学校留学生／専修学校留学生／日本語・日本文化研修留学生	117,000円		約 1,000米ドル

※修学・研究する地域によって奨学金の加算があります。

2 文部科学省外国人留学生学習奨励費（留学生受入れ促進プログラム予約制度）

日本留学試験（EJU）で優秀な成績を修め、日本の大学学部、短期大学、高等専門学校（第3学年以上）又は専修学校専門課程に正規生として新規に入学する私費外国人留学生を対象とした奨学金です。

問い合わせ：日本学生支援機構（JASSO）

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/scholarships/shoureihi/yoyakuseido/index.html

月額（2016年度）：48,000円（約410米ドル）

3 海外留学支援制度（協定受入）奨学金

留学期間が8日以上1年以内である大学間交流協定等による交換留学生を対象としています。

問い合わせ：母国の在籍校

月額（2016年度）：80,000円（約683米ドル）

4 学校独自の奨学金、授業料減免・免除制度

進学先の学校から案内がありますので、指示に沿って申し込みましょう。

5 地方自治体または民間団体の奨学金

奨学金団体に直接申し込む場合がほとんどです。入学が決まってから進学先学校を通じて申し込む場合もあります。

日本に来てから応募する奨学金

1 日本政府（文部科学省）奨学金

問い合わせ：日本国内の在籍校

対象	月額（2015年度実績）		（参考）
研究留学生	修士課程	144,000円	約 1,231米ドル
	博士課程	145,000円	約 1,239米ドル

※修学・研究する地域によって奨学金の加算があります

2 文部科学省外国人留学生学習奨励費（留学生受入れ促進プログラム）

問い合わせ：日本国内の在籍校

対象	月額（2016年度）	（参考）
大学院（修士課程・博士課程）／研究生（大学院レベル）／大学学部／短期大学／高等専門学校（第3学年以上）／専修学校専門課程／留学生別科／専攻科／準備教育課程	48,000円	約 410米ドル
日本語教育機関	30,000円	約 256米ドル

3 学校独自の奨学金、授業料減免・免除制度

問い合わせ：日本国内の在籍校

4 地方自治体または民間団体の奨学金

問い合わせ：日本国内の在籍校または奨学金団体

留学生対象の奨学金は、日本に来る前に応募できるものより、日本に来てから応募する奨学金のほうが沢山あります。多くの場合、在籍している学校を通じて申し込みます。

生活費・物価

通貨と物価

日本の通貨は円です。クレジットカードが使えるお店もありますが、日本では現金での支払いが一般的です。小切手は、日本では日常の支払いにはあまり使われていません。



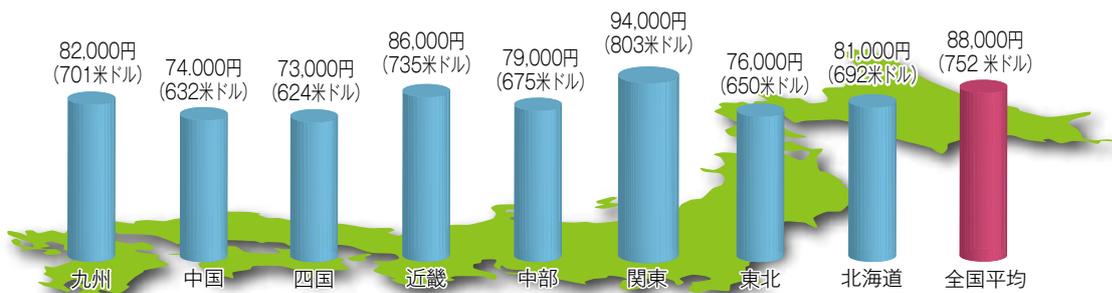
◆主な商品の物価

米 (5kg)	1,983 円 (17米ドル)	コーラ (500ml ペットボトル)	94 円 (1米ドル)
食パン (1kg)	433 円 (4米ドル)	ハンバーガー	174 円 (2米ドル)
牛乳 (1,000ml)	223 円 (2米ドル)	自動車ガソリン (1ℓ)	128 円 (1米ドル)
鶏卵 (10個)	263 円 (2米ドル)	トイレットペーパー (12ロール)	284 円 (2米ドル)
りんご (1kg)	456 円 (4米ドル)	映画入場料	1,800 円 (15米ドル)
キャベツ (1kg)	192 円 (2米ドル)	タクシー (4km)	1,450 円 (12米ドル)

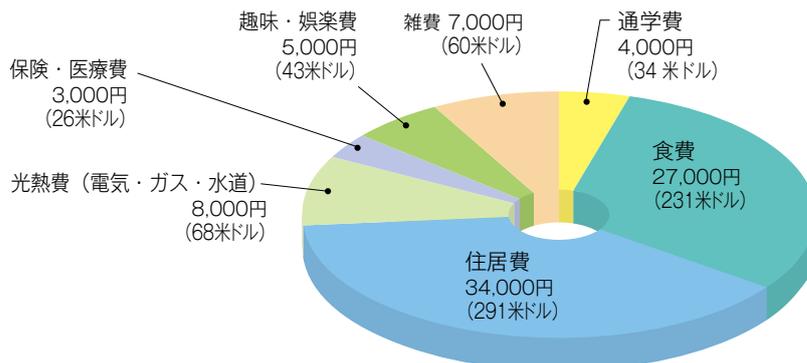
出典：「政府統計の総合窓口」

生活費

外国人留学生の1ヵ月の生活費（学費を含まない）は次のとおりです。大都市の生活費は、地方に比べて高いです。



◎1ヵ月の支出項目別内訳（学費を含まない）（全国平均）



出典：「平成 25 年度私費外国人留学生生活実態調査」(JASSO)
※ 1米ドル=117円 で計算

留学前に準備する経費

留学前に準備する経費にはどのようなものがあるのでしょうか？

入学決定前に必要な費用

出願前に必要な経費

- ・各種試験の受験料 EJU、JLPT、TOEFL® 等
- ・志望校の入学試験検定料
- ・健康診断受診料……………学校によっては、出願時または入学前に健康診断の診断書の提出が必要です。
- ・出願書類の郵送費用 ……学校によっては、願書の取り寄せや、願書の送付の際、郵送しか受け付けられない場合があるので、EMS 等の発送費用が必要です。

入学試験受験のための経費

- ・航空賃及び滞在費……………渡日前入試を行っていない場合は、日本へ渡航し、入学試験を受ける必要があります。また、空港から宿泊先、宿泊先から受験会場までの交通費も必要です。

入学決定後に必要な費用

学 費

- ・入学金
- ・初年度の学費

渡日のための経費

- ・渡航費
- ・滞在費……………住居が決まるまでのホテル等での宿泊費

来日してから必要な費用

日本で生活を始めるための経費

- ・住居費……………アパートに住む場合、契約時に家賃の半年分程度の費用を準備しておく必要があります。
- ・通信費……………携帯電話の購入等

授業が始まってから必要な経費

- ・教材費……………教科書代が学費に含まれているか、別途購入するかは学校に確認しましょう。
- ・通学のための交通費
- ・生活に必要な費用……………食費等

その他経費

- ・海外送金手数料……………日本国外から、学費等を海外送金する場合は、送金手数料が必要です。
- ・パスポート（旅券）申請費……………渡航のためにはパスポートが必要です。
- ・ビザ手数料

アルバイト

私費留学生の約75%がアルバイトをしています。1ヵ月あたりの平均給与は約50,000円（427米ドル）です。皆さんは学生であり、勉強をするために日本に来ています。アルバイトだけでは、全ての学費や生活費をカバーできません。アルバイトに頼らない資金計画をたてましょう。アルバイトをするには、近くの入国管理局等で「資格外活動許可」を受け、次の条件の下で行うことができます。

1. 勉強の障害にならないこと。
2. 留学中の学費や必要経費を補う目的であって、貯金や仕送りのためではないこと。
3. 風俗営業ではないこと。 ※法令で禁止されています。
4. 1週28時間以内（長期休業期間中は1日8時間以内）であること。
5. 教育機関に在籍している間に行うものであること。

※新規入国者で、かつ、「留学」の在留資格で3ヵ月を超える在留期間が決定された人は、上陸許可時に入国する空海港において、資格外活動許可の申請をすることができます。

※無許可で働いた場合や許可された時間、活動内容を超えて働いた場合は、処罰されたり強制退去になります。



アルバイトのために勉強がおろそかになって、学校の出席率が足りなくなり、在留期間の更新が出来ずに帰国する留学生在が毎年出ています。皆さん、十分に気を付けてください。



〈留学生在がアルバイトに就くことが多い職種（複数回答設問）〉

	職種	割合
1	飲食業	48.7%
2	営業・販売	24.7%
3	ティーチング/リサーチアシスタント	7.4%
4	語学教師	6.3%
5	家庭教師	5.1%
6	清掃	4.7%
7	翻訳・通訳	4.2%
8	ホテル受付・ホール係	4.1%

出典：「平成25年度私費外国人留学生生活実態調査」（JASSO）

〈アルバイトの時給〉

時給	割合
800円未満	14.1%
800～1,000円未満	54.7%
1,000～1,200円未満	22.5%
1,200～1,400円未満	3.6%
1,400円以上	4.4%
不明	0.6%

「日本留学中にお金が稼げる」と強調する留学あっせん業者には要注意



近年、一部の留学あっせん業者は、ウェブサイト（日本向け留學生募集情報）に、次のような誤った情報を掲載し、あっせん料として高額な金額をだまし取っていることがありますので、気を付けてください。

誤り！「勉強しながらでも、アルバイトで1ヵ月30万円（2,500米ドル）稼げる。」 → **稼げません**

誤り！「1時間に3,000円（26米ドル）の時給がもらえる。」

→ **通常の時給は、900円（8米ドル）程度です。**

誤り！「留学中は、アルバイトで得た給与で、学費と生活がカバーでき、国に仕送りができる。」

→ **できません**

※1米ドル=117円で計算

住居

地方自治体や学校が運営する学生寮もありますが、留学生の約75%は民間の宿舍やアパートに住んでいます。

学生寮

メリット

- ・ 経費が抑えられる
- ・ 他の学生とすぐに仲良くなれる
- ・ 家電製品等を自分で買う必要が少ない

デメリット

- ・ 居室数に限りがあるので、希望者全員が入居できるわけではない。
- ・ 門限や起床時間等の規則がある
- ・ 台所、トイレ、お風呂が共同



アパート

メリット

- ・ 自分の好きなように生活リズムを組み立てられる
- ・ 自立心が養われる
- ・ 金銭感覚が身に付く

デメリット

- ・ 経費がかかる
敷金（家賃数ヵ月分。保証金と呼んでいる地域もあります。）、礼金、仲介手数料等を支払います。前払いしなければならない場合がほとんどです。
- ・ 手続きが煩雑
家主または不動産屋と賃貸契約を結ぶ必要があります。
- ・ 家具・家電製品等を一から揃えなければならない

連帯保証人

日本では、アパートを借りる際、一般的に「連帯保証人」が必要となります。あなたが、期日までに家賃を支払わなかったり、部屋の設備を壊しても修理費を支払わなかったりした場合、家主は、「連帯保証人」に支払いを要求します。日本に知り合いが少ない留学生のために、学校関係者（機関・教職員）等が連帯保証人を引き受けてくれる制度もあります。

※留学生住宅総合補償（Comprehensive Renters' Insurance for Foreign Students Studying in Japan）

公益財団法人 日本国際教育支援協会が運営しており、万一の火災等に対する備えと、入居のための保証人に迷惑がかけられないようにするための制度です。この制度が利用できるかは、在籍する学校か入学予定の学校の窓口にご相談ください。

情報収集

- ・ 学校の留学生担当窓口
- ・ インターネット、情報誌
- ・ 自分が住みたい地域にある不動産屋

合格通知を受け取ったら、すぐに住居の情報収集をしましょう。



部屋探しのポイント

- 家賃、初期費用は？
- 学校からの距離・通学時間は？
- 部屋の広さ、設備は？
- 周辺環境の利便性
（駅が近い、買い物しやすさ等）は？

医療保険・損害保険

医療保険

日本には医療費の負担を軽減するための保険制度があります。
日本に3ヵ月以上滞在する外国人は「国民健康保険」(国保)に入らなければなりません。

■ 加入するには

あなたが住んでいる地域の市区町村の役所で手続きをします。

■ 保険料

通常、年額2万円程度です。ただし、市区町村やあなたの所得等によって金額は異なります。学生に対して、保険料の減額や補助制度を設けている市区町村もありますので確認しましょう。

■ 保険の内容

けがや病気で治療を受ける時に保険証を提示すれば、医療費の総額のうち70%は国保が負担しますので、個人が払う医療費の負担は30%です。ただし、保険診療適用外の医療費は全額自己負担です。

損害保険

国民健康保険では対応できない事故等に関して補償する保険として、傷害保険や個人賠償責任保険があり、留学生も加入することができます。

例えば、次のような場合に補償されます。

- ・ 転んで骨折をして入院した
- ・ 自転車歩行者にぶつかりケガをさせ、相手の治療費を負担しなくなかった
- ・ 留守中に、部屋に置いてあったパソコンやカメラが盗まれた

学校から、各種保険の案内がありますので、検討してみましょう。

また、大学に通っている場合は、大学生協の「学生総合共済」という保障制度に加入することもできます。

i <http://kyosai.univcoop.or.jp/>

インターンシップ・就職活動

インターンシップ

学生が在学中に企業等において自らの専攻、将来のキャリアに関連した就業体験をする制度のことをインターンシップといいます。教育課程の一環として単位を認める学校もあります。在学中のインターンシップ制度の有無及び単位の認定については、直接学校に確認してください。報酬を得る場合は、「資格外活動許可」を得る必要があるため、注意しましょう。

■ 日本国外の大学に在籍している学生が、日本でインターンシップをする場合の在留資格

日本国外の大学に在籍する学生が、その大学の単位取得等教育課程の一環として、日本の企業等との契約や取り決めに基づき、就業体験をするために認められる入国の場合は、報酬の有無、滞在期間に応じ、在留資格は「特定活動」、「文化活動」、「短期滞在」のいずれかになります。

就職活動

日本の大学または専門学校の卒業までに就職が決まらなかった場合でも、「留学」から「特定活動」へ在留資格の変更を行うことによって、就職活動を学校卒業後に1年間、継続して行うことができます。この場合の在留期間は6カ月間で、一度だけの更新が認められます。

手続方法等詳細については、地方入国管理局等に問い合わせてください。

- JASSO ウェブサイトに、就職活動の体験談、就職関連イベント情報を掲載しています。

外国人留学生のための就活ガイド (JASSO)

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/job/index.html

Japan Alumni eNews (JASSO)

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/enews/index.html

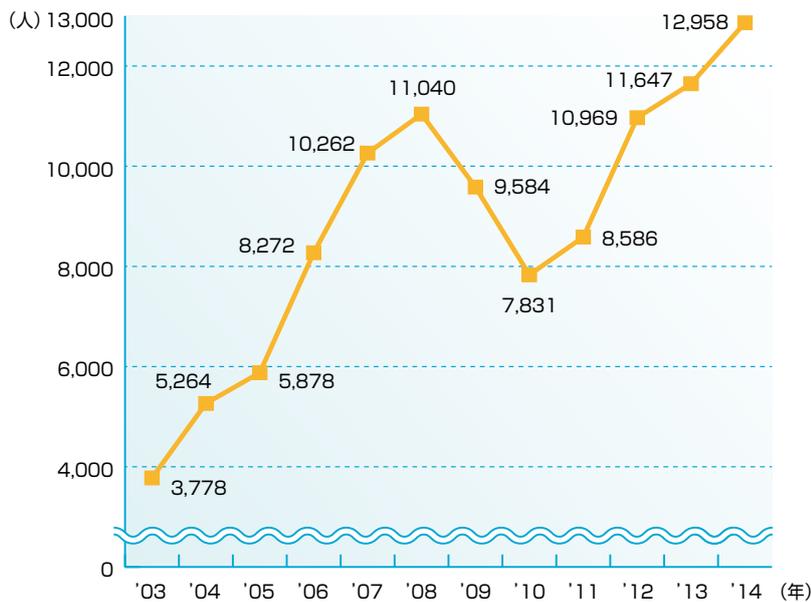


日本での就職

日本では、「国籍を問わず優秀な人材を確保したい」、「外国語や外国の状況を理解している人材が必要」、「多様な背景を持つ人材を積極的に採用したい」と考える企業が増え、外国人留学生の採用は増加しています。しかし、留学生の日本国内での就職は、簡単ではありません。

日本における留学生の採用状況について

<在留資格「留学」から就労資格への変更申請許可件数>



<業種別構成比（上位5）>

1位	商業・貿易	22.6%
2位	コンピュータ関連	9.9%
3位	教育	9.1%
4位	電機	3.9%
5位	飲食業	3.3%

<初任給（月額）>

20万円(約1,800米ドル)未満	32.1%
25万円(約2,200米ドル)未満	48.1%
30万円(約2,600米ドル)未満	10.4%
35万円(約3,000米ドル)未満	3.3%
35万円(約3,000米ドル)以上	3.7%
不明	2.5%

※1米ドル=117円で計算

出典：「平成26年における留学生の日本企業等への就職状況について」（法務省入国管理局）

在留資格の変更

留学生が日本において就職する場合には、在留資格「留学」から、「技術・人文知識・国際業務」など就労可能な在留資格に変更することが必要になります。

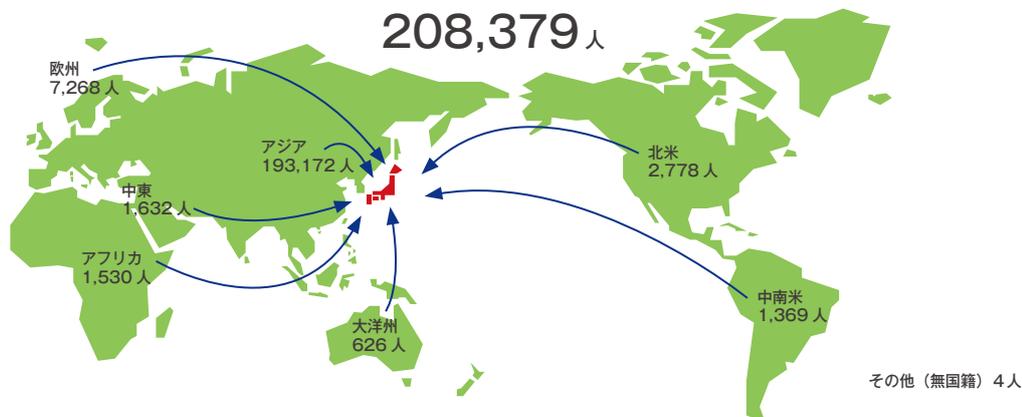
在留資格を変更するポイントとして、4項目があげられます。

学歴	大学・短期大学・高等専門学校の卒業者 専門学校を卒業して「専門士」の称号を得た者
従事しようとする業務内容	就職先での仕事内容が自分の専攻していた科目に関連があるか、重視される。 (例) 服装デザインを学んでいた人がコンピュータ・プログラマーとして採用されたような場合は、在留資格の変更は難しいことがある。
報酬	日本人と同等額以上の報酬があること
企業の実態	会社の経営基盤や業績が安定していること等

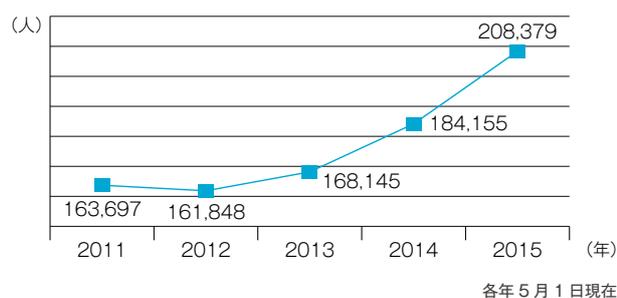
統計

■日本における外国人留学生数

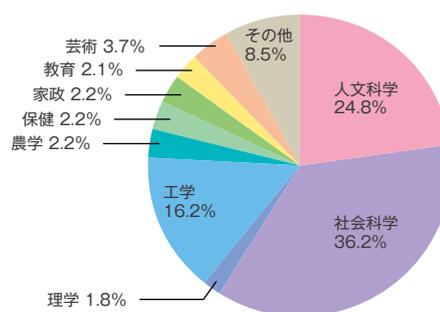
2015年5月1日現在



■外国人留学生数推移



■専攻分野別外国人留学生の割合(高等教育機関)



■在学段階別外国人留学生数

(人)

		国立	公立	私立	合計
在学段階	大学院	25,532	1,812	14,052	41,396
	大学(学部)	11,024	1,737	54,711	67,472
	短期大学	0	13	1,401	1,414
	高等専門学校	460	0	59	519
	専門学校	0	6	38,648	38,654
	準備教育課程			2,607	2,607
	日本語教育機関			56,317	56,317
	合計	37,016	3,568	167,795	208,379

出典：平成27年度外国人留学生在籍状況調査(JASSO)
http://www.jasso.go.jp/about/statistics/intl_student_e/index.html

■高等教育機関数

(校)

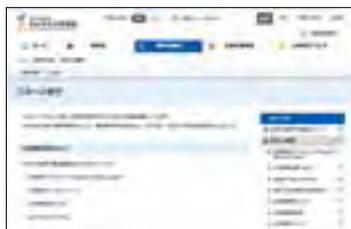
	国立	公立	私立	合計
大学院	86	78	463	627
大学(学部)	82	87	584	753
短期大学	0	18	328	346
高等専門学校	51	3	3	57
専門学校	9	190	2,624	2,823

※私立大学に放送大学を含む。
 出典：平成27年度学校基本調査(文部科学省)

※2015年5月1日現在

情報収集

日本留学の基本情報



JASSO ウェブサイト

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/index.html

日本留学の基本情報を提供

- ・ 学校検索 ・ 奨学金情報 ・ 日本留学試験 (EJU)
- ・ JASSO 主催 日本留学フェア・説明会

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/event/index.html

- ・ JASSO 海外事務所 (インドネシア・韓国・タイ・マレーシア)
 - ・ Eメール・面談・電話・手紙による相談
 - ・ 学校案内・学校要覧、日本留学参考図書の閲覧
 - ・ 現地説明会での情報提供

<http://www.jasso.go.jp/ryugaku/about/jeic/index.html>

- ・ 日本留学促進資料公開拠点
日本の教育機関のパンフレットや日本留学関連図書が閲覧できます。

http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/sjrf/index.html

日本留学関連情報



日本語版



英語版



日本留学ポータルサイト —Gateway to Study in Japan—

<http://www.g-studyinJapan.jasso.go.jp/>



Study In Japan 日本留学総合ガイド

<http://www.studyJapan.go.jp/jp/index.html>

日本留学を希望する人、日本留学中の人、帰国した人のために役立つ情報

- ・ 日本政府奨学金 ・ イベント情報 ・ 帰国留学生会
- ・ 留学経験者からのメッセージ



JAPAN STUDY SUPPORT

<http://www.jpss.jp/ja/>

留学生のための各種情報

- ・ 学校検索 ・ 奨学金検索 ・ 入学試験情報 ・ 日本での生活

日本国大使館・総領事館

日本留学情報や日本政府奨学金情報が得られます。留学相談を行っているところもあります。
在外日本公館リスト（外務省）

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/annai/zaigai/list/>

大学院・大学・短期大学

学校検索（JASSO）	http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/search/daigakukensaku.html
学校検索（JAPAN STUDY SUPPORT）	http://www.jpss.jp/ja/

高等専門学校（KOSEN）

国立高等専門学校機構 国際交流センター	http://ciex.kosen-k.go.jp/menuIndex.jsp?id=32333&menuid=7703&funcid=28
---------------------	---

専門学校

専門学校検索（全国専修学校各種学校総連合会）	http://www.zensenkaku.gr.jp/association/index.html
専門学校検索（東京都専修学校各種学校協会）	http://tsk-school.com/from-now.php
留学生を受け入れている専門学校 （職業教育・キャリア教育財団）	http://www.sgec.or.jp/ryuugakuguide/index.html

日本語教育機関

日本語教育機関検索 （日本語教育振興協会）	http://www.nisshinkyu.org/search/
私立大学・短期大学留学生別科一覧 文部科学大臣指定「準備教育課程」	http://www.jasso.go.jp/ryugaku/study_j/search/nihongokyouiku.html

正確かつ最新の情報は、各学校の「学校案内」「募集要項」「ウェブサイト」に掲載されています。
受験する学校の最新情報を必ず確認しましょう！



JASSO facebook



私たち日本学生支援機構は、 皆さんにとって日本留学が 実りあるものになることを心より願っています。

独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)は、文部科学省が所管する団体です。
学生支援を先導する中核機関として、奨学金貸与事業、留学生支援事業及び学生生活支援事業を総合的に実施し、
次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成するとともに、
国際理解・交流の推進を図ることを目指しています。

1

奨学金貸与事業

経済的理由により修学に困難がある優れた日本人の学生等に対し、奨学金の貸与を行っています。また、学生の多様なニーズに対応した奨学金制度の充実や申請手続の改善、奨学金に関する情報提供の充実、適切な回収を行っています。

2

留学生支援事業

留学生等に対する奨学金の給付、各種留学生交流プログラムの実施、日本留学試験等による入学手続の改善、留学に関する情報の収集・提供等を推進しています。

3

学生生活支援事業

各大学等が行う各種学生生活支援活動に資するために、学生生活支援に関する有益な活動事例等の情報を収集・分析するとともに、情報の提供を行っています。また、各種研修事業等を通して大学等の学生サービスの充実を支援しています。



独立行政法人
日本学生支援機構
JASSO Japan Student Services Organization

東京 TEL (+81) 3-5520-6111
FAX (+81) 3-5520-6121

〒135-8630 東京都江東区青海 2-2-1
infoja@jasso.go.jp



日本留学の基本情報

<http://www.jasso.go.jp/ryugaku/>
<http://www.g-studyinjapan.jasso.go.jp/>
<https://www.facebook.com/jasso.studentexchange>

海外事務所 (JASSO日本国際教育交流情報センター)

インドネシア TEL (+62) 21-252-1912

JASSO Japan Educational Information Center, Jakarta Summitmas Tower I, 2nd Floor, Jalan Jenderal Sudirman KAV 61-62 Jakarta 12190 INDONESIA
info@jasso.or.id
<http://www.jasso.or.id/>
<https://www.facebook.com/jasso.indonesia>

韓国 TEL (+82) 2-765-0141

JASSO Japan Educational Information Center, Seoul Garden Tower 702, 84 Yulgok-ro, Jongno-gu, Seoul 03131 REPUBLIC OF KOREA
jasso@jasso.or.kr
<http://www.jasso.or.kr/>
<https://www.facebook.com/JASSO.Korea>

タイ TEL (+66) 2-661-7057

JASSO Japan Educational Information Center, Bangkok 10F Serm-mit Tower, 159 Asok-Montri Rd., Klongtoey-Nua, Wattana, Bangkok 10110 THAILAND
info@jeic-bangkok.org
<http://www.jeic-bangkok.org/>
<https://www.facebook.com/JASSO.Thailand>

マレーシア TEL (+60) 3-2287-0812

JASSO Japan Educational Information Center, Kuala Lumpur A-7-5, Northpoint Offices, Mid Valley City, No.1, Medan Syed Putra Utara, 59200 Kuala Lumpur, MALAYSIA
enquiry@studyinjapan.org.my
<http://www.studyinjapan.org.my/>
<https://www.facebook.com/JASSO.Malaysia>